

# 引戸門扉 レール式 機能門柱納まり 取付説明書

- この度は、新日軽商品をご採用いただき誠にありがとうございます。  
商品を正しく安全に組立・施工していただくために、この取付説明書をよくお読みの上、作業を行ってください。
- 本説明書に示した注意事項は、商品の性能・機能および強度や安全性を確保する上での重要な内容です。  
施工にあたっては必ずお守りください。
- 施工は専門業者が行ってください。専門知識のない方が施工されますと不具合発生の原因となることがあります。
- 施工にあたっては、錠の組立取付説明書も合わせて参照してください。
- この説明書は施工後必ず施主様へお渡しください。

## 施工時の注意事項 施工にあたっては次の点をご確認ください。

- モルタル用に海砂を使用されますと、多量に塩分が含まれているため、腐食の原因になりますのでご使用を避けていただくか、十分水洗いしたものを御使用ください。また、モルタルやコンクリートの急結剤は腐食の発生や促進作用がありますのでその使用を避けていただくか、塩化カルシウムや塩素系の化合物・珪酸ナトリウム等の入っていないものをご使用ください。
- アルミ商品と銅板やラス等の異種金属が接触しないようにしてください。接触する場合には、ビニールテープ等を貼るか塗料等で絶縁処理をしてください。
- 腐食の恐れのある接着剤や化学薬品を使用する場合には、商品と接触しないようにするか接触する部分を完全に養生してください。
- 埋込柱内部にモルタルやコンクリートや水などが入らないようにしてください。柱内部の異常腐食や柱の凍結破損の原因になります。
- モルタルやコンクリートの抽出液は強アルカリ性で、しみやむら等の外観不良や腐食の原因になりますので、工事中に商品に付着しないようご注意ください。
- 施工時に商品の表面に付着したモルタルやコンクリート等は速やかに清掃してください。また、アルミ表面にキズをつけますと腐食しやすくなりますので取扱いには十分注意してください。
- 基礎施工は、地下埋設物（給水配管等）に影響を及ぼさないように柱位置決めしてください。
- 養生期間は十分（4日～1週間）にとり、養生期間中は重いものをのせたり、振動させたりしないように指示してください。
- 改造・変更をしないでください。

この説明書に示した注意事項は、安全に関する重要な内容を示しています。人身事故や財産への損害を未然に防止するため、次のような絵表示をしています。

絵表示	意味	絵表示	ご使用上の注意とお願い
	この表示を無視して誤った取り扱いをすると使用者等が負傷する危険や物的損害の発生が予想されることを表しています。		「必ず行っていただくこと」を示しています。

## 注意

- 各ボルト・ビス類は、確実に締め付けてください。
- 無理にボルト・ビスを締め付けしないでください。破損の原因となります。
- 施工完了後は、扉の開閉チェックを行い、不具合がないか確認してください。



- 下記説明書を合わせて参照してください。  
・機能門柱ファンクションユニット [ME-1481]  
・引戸錠 HA 型 [ME-1746]

※この説明書内のイラストは、「右引き（道路側より見て）」・「外観図」で示しています。（「内観図」と指示のある場合を除きます。）  
※「左引き（道路側より見て）」の場合は、左右対称に施工してください。

## もくじ

梱包明細 .....	2	5. 引戸の設置 .....	11
納まり図 .....	3	5-1 引戸の設置 .....	11
1. 柱部品の取付け .....	5	5-2 開き戸の設置（※開き戸付機能門柱片引き納まりの場合） .....	11
1-1 ガイド柱部品の取付け .....	5	6. 引戸取付後の作業と調整 .....	12
1-2 機能門柱の組立て .....	5	6-1 片開き部材の取付け .....	12
1-3 吊元柱部品の取付け .....	5	6-2 戸当り・錠受けの取付け .....	13
（※開き戸付機能門柱片引き納まりの場合） .....	5	6-3 錠の取付け .....	13
2. 柱の設置位置の確認 .....	6	6-4 ガイドローラーの調整 .....	14
2-1 機能門柱片引き納まりの場合 .....	6	6-5 自走防止金具の取付け .....	14
2-2 開き戸付機能門柱片引き納まりの場合 .....	7	6-5 戸車と扉浮き止めストッパーの調整 .....	15
3. 柱・レールの設置 .....	8	6-7 落とし受けツボの埋め込み .....	15
3-1 レールの取付け .....	8	（※開き戸付機能門柱片引き納まりの場合） .....	15
3-2 柱・レールの埋め込み .....	9	施工完了時の注意事項 .....	16
4. 引戸部品の取付け .....	10	施工工事店様、販売店様へのおお願い .....	16
4-1 縦枠キャップ（下部）の取付け .....	10		
4-2 戸車の取付け .....	10		
4-3 上枠ストッパーの取付け .....	10		

# 梱包明細

- 施工前に、部材数量および部品数量を確認してください。また、品質に支障のある損傷が無いを確認してください。
- 説明書に記載している部材・部品（ビス含）以外は使用しないでください。
- 錠は、別途取付説明書を確認してください。

表内の（ ）は個数を表しています。

梱包名称		梱包内容
引戸		引戸本体 (1)・縦框キャップセット (1)
開き戸		開き戸本体 (1)・縦框キャップセット (1)・落し受ツボ (1)
戸車		戸車 (2)・取付ボルトセット (1)・上枠ストッパー (1)・自走防止金具 (1)
ガイド門柱		ガイド柱 (1)・ガイドローラーセット (1)・取付説明書 [ME-1763] ]*1 (1)
戸当り	片引き	戸当り (1)・部品セット (1)
	開き戸付き	戸当り (1)・部品セット (1)・落し錠セット (1)
片引き部材セット		部材 (1)・部品セット (1)
サブ門柱		吊元門柱 (1)・ヒンジセット (1)
ステンレス レール (スチール レール)	本体巾：15～17	レール [L=2750] (1)
	本体巾：20～22	レール [L=1875] (2)
	本体巾：24～26	レール [L=2375] (2)
	本体巾：27～30	レール [L=2675] (2)
	本体巾：33～36	レール [L=3175] (2)

\*1：取付説明書は、下記セット部品の「ガイドローラーセット」に同梱されています。

## セット部品明細

表内の（ ）は個数を表しています。

梱包名称		梱包内容
縦框キャップ セット	引戸用	縦框キャップ (2)・セムスビス (2)・取付説明書 [ME-1600] (1)
	引戸横格子用	縦框キャップ (2)・セムスビス (2)・下部戸車用スペーサー (2)・取付説明書 [ME-1600] (1)
	開き戸用	縦框キャップ (2)・セムスビス (2)・落し受ツボ (1) [梱包明細と同一品]・取付説明書 [ME-1600] (1)
ガイドローラーセット		門柱キャップ (1)・φ4×10トラスタッピン3種 (2) アンカー棒 (1)・ガイド (1)・φ4×30ナベタッピン2種ツイストネジ (4) ガイド柱用レール固定板 (1)・φ4×16トラスタッピン3種 (2)・扉浮き止めストッパー (2) レールジョイント金具 (1)・M4×10トラス小ネジ (4)・アンカー (3)
戸当り部品セット		戸当り固定裏板 (6)・M4×8トラス小ネジ (6)
片引き部材部品セット		φ4×16セルフドリリングビス (7)

## 機能門柱

対応品名	備考
ファンクションユニット M1・A1 型	捨出し、梱包内容はファンクションユニットのものを参照してください。

# 勝手の確認

- 施工前に確認してください。

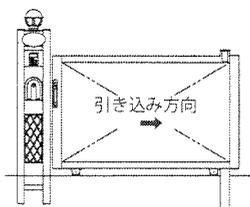
- 本説明書では、引戸の勝手を下記の通り示しています。



道路側より見て

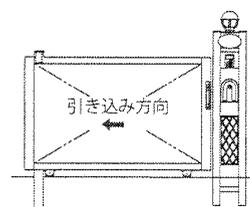
- ・「右側」へ引き込む→「右引き」
- ・「左側」へ引き込む→「左引き」

右引き



ME1763-041

左引き



ME1763-042

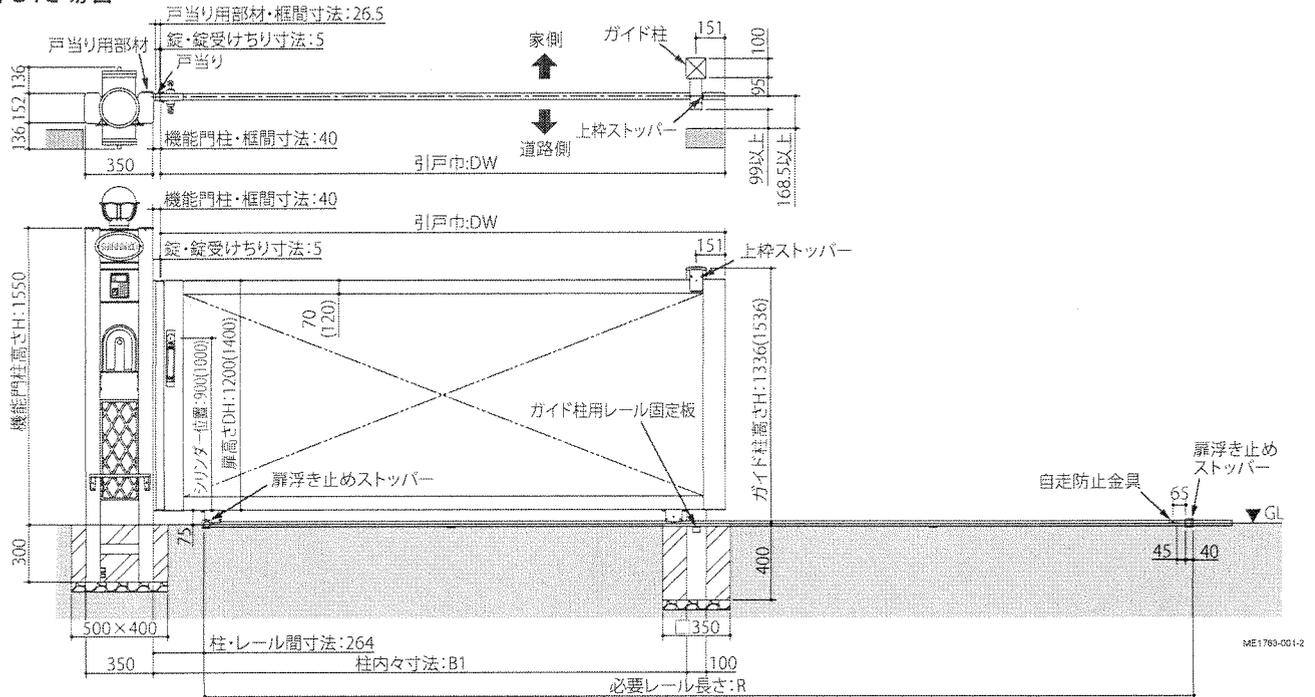
# 納まり図

- 施工前に必ず確認してください。
- 本図は、「右引き（道路側より見て）」・「外観図」です。

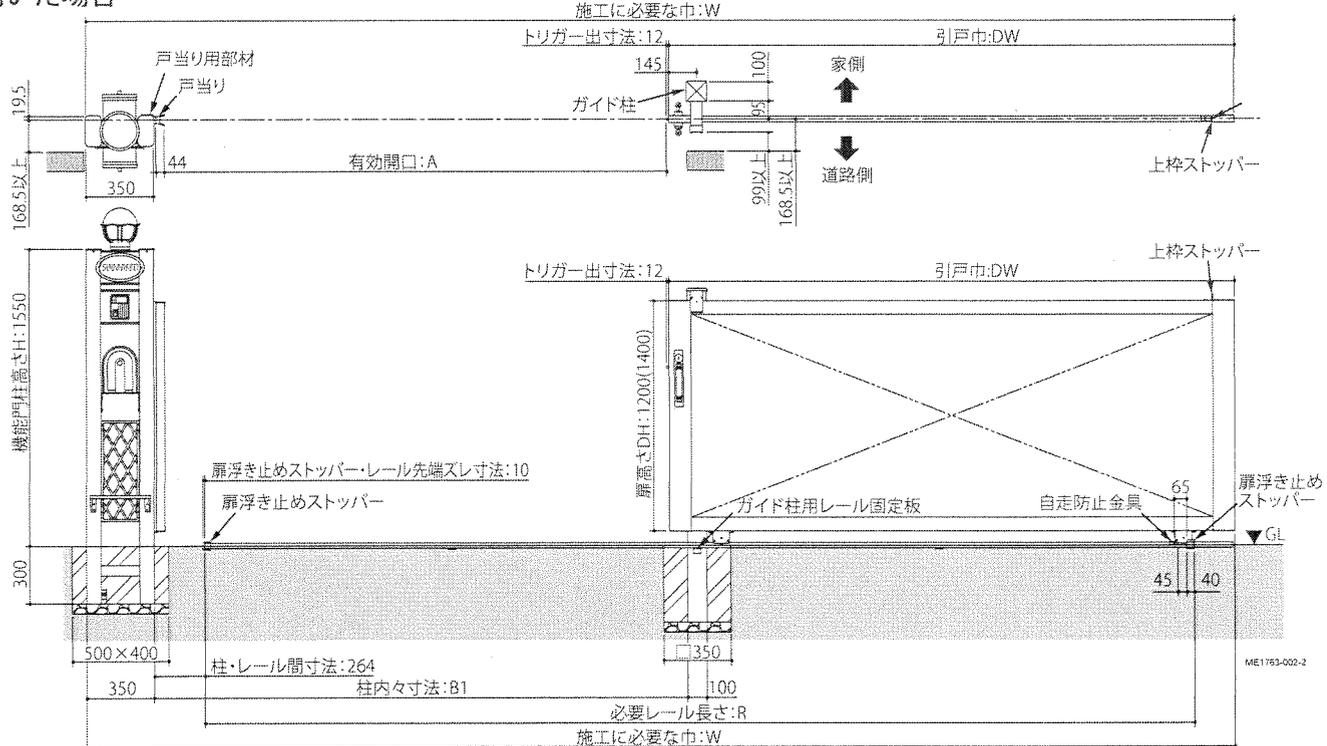
## 機能門柱片引き納まり

※本図は、DW=2940・H=1200の外観図です。  
 ※（ ）内は、H=1400の場合を示しています。

### ●引戸を閉じた場合



### ●引戸を開いた場合



### ●納まり寸法表

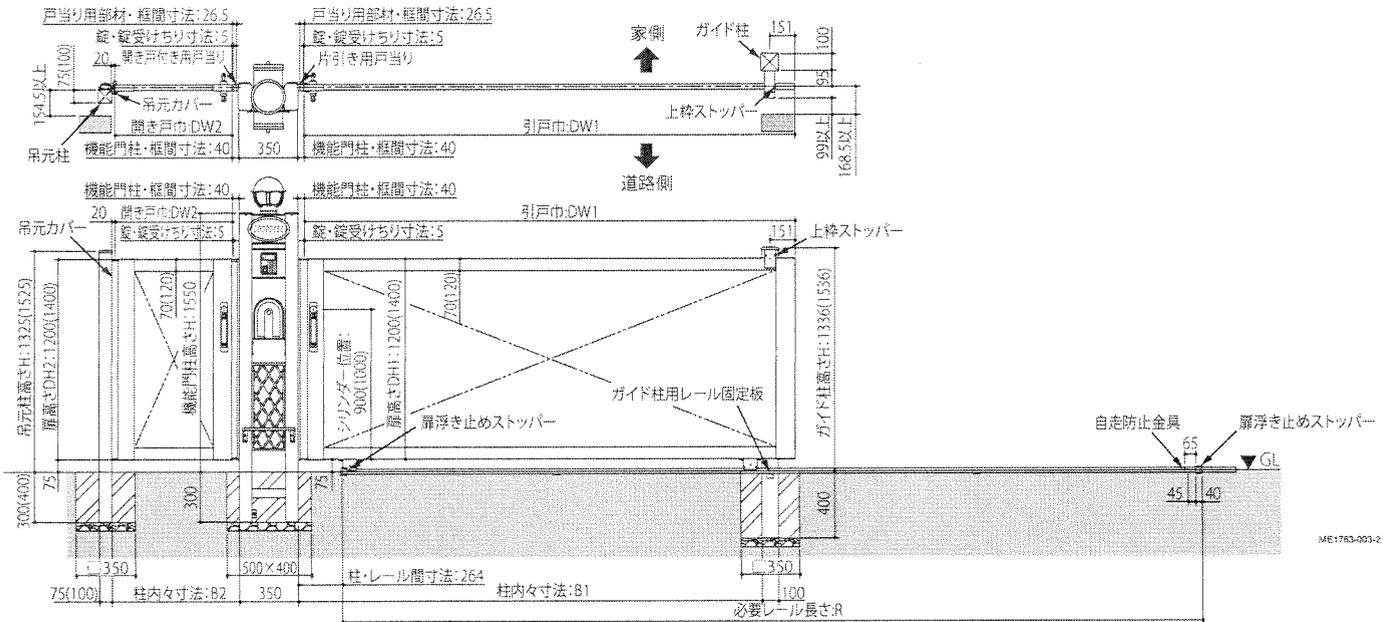
(mm)

サイズ呼称	DW: 引戸巾	W:	A:	B1:	R:	C:
		施工に必要な巾 DW × 2+94	有効開口 DW-326	柱内々寸法 DW-161	必要レール長さ DW × 2-734	レール残り寸法
152S-A1・154S-A1	1500	3094	1174	1339	2266	484
202S-A1・204S-A1	2020	4134	1694	1859	3306	444
262S-A1・264S-A1	2620	5334	2294	2459	4506	244
292S-A1・294S-A1	2940	5974	2614	2779	5146	204
352S-A1・354S-A1	3540	7174	3214	3379	6346	4

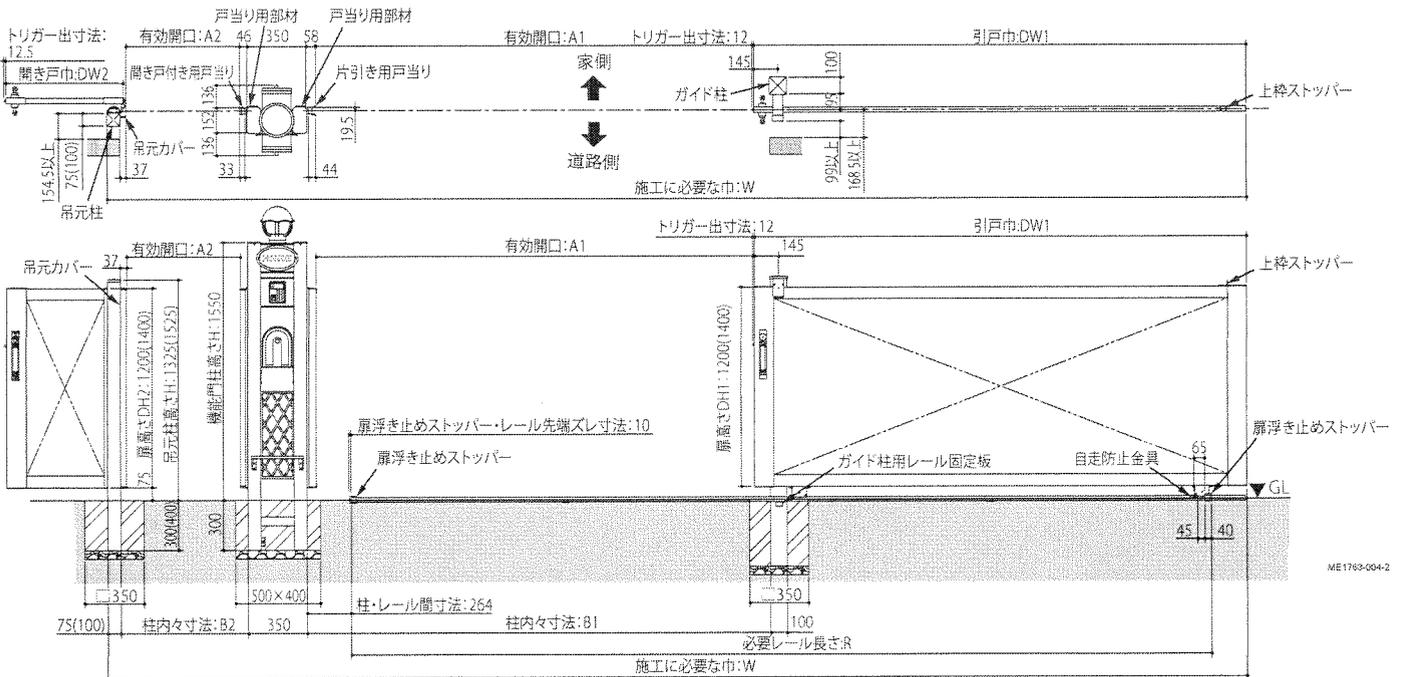
開き戸付き機能門柱片引き納まり

※本図は、DW1=2940・DW2=700・H=1200の外観図です。  
 ※（ ）内は、H=1400の場合を示しています。

●引戸・開き戸を閉じた場合



●引戸・開き戸を開いた場合



●納まり寸法表

(mm)

サイズ呼称	DW1+DW2 扉巾	W:	A1: 引戸	A2: 開き戸	B1:	B2:	R: 必要	C: レール
		施工に必要な巾	有効開口	有効開口				
		H1200:(DW1x2)+DW2+230 H1400:(DW1x2)+DW2+255	DW1-326	DW2-23	DW1-161	DW2+60	DW1 × 2-734	
H1200	152M-A1	1500+700	3930	1174	1339	760	2266	484
	202M-A1	2020+700	4970	1694	1859		3306	444
	262M-A1	2620+700	6170	2294	2459		4506	244
	292M-A1	2940+700	6810	2614	2779		5146	204
	352M-A1	3540+700	8010	3214	3379		6346	4
H1400	154M-A1	1500+800	4055	1174	1339	860	2266	484
	204M-A1	2020+800	5095	1694	1859		3306	444
	264M-A1	2620+800	6295	2294	2459		4506	244
	294M-A1	2940+800	6935	2614	2779		5146	204
	354M-A1	3540+800	8135	3214	3379		6346	4

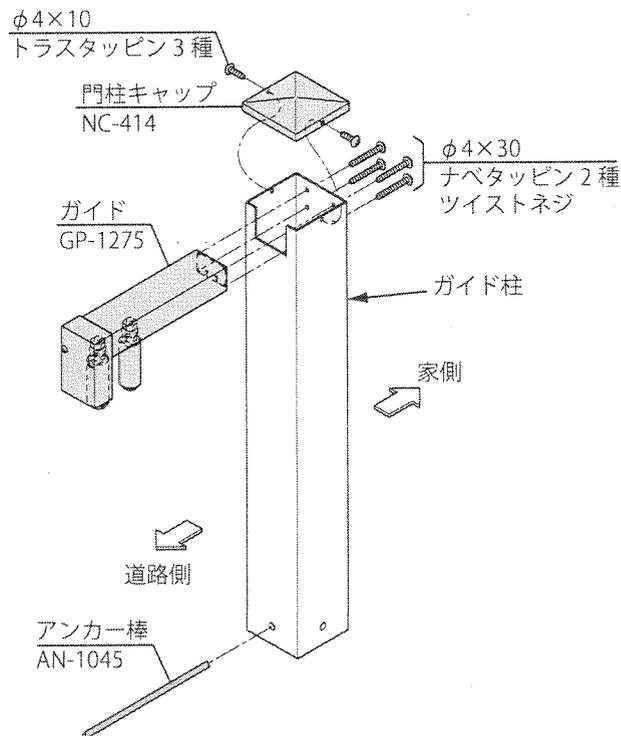
# 1

## 柱部品の取付け

●「右引き (道路側より見て)」「外観図」のイラストで示しています。

### 1-1 ガイド柱部品の取付け

- ①ガイドをガイド柱に取付けてください。
- ②門柱キャップをガイド柱に取付けてください。
- ③アンカー棒をガイド柱下部に差し込んでください。



ME1763-031

### 1-2 機能門柱の組立て



参照説明書：  
機能門柱ファンクションユニット  
[ME-1481]

- ①機能門柱ファンクションユニット [ME-1481] の取付説明書を参照して、機能門柱を組立ててください。

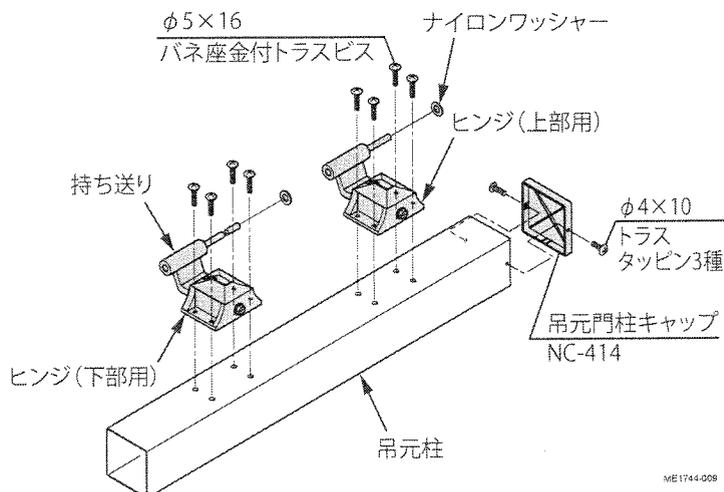
### 1-3 吊元柱部品の取付け

(※開き戸付機能門柱片引き納まりの場合)

- ①吊元柱と同梱の「ヒンジセット」内の取付説明書 [ME-1324] を参照して、門柱キャップ・ヒンジを吊元柱に取付けてください。



参照説明書  
・形材門扉用門柱 片開き用  
[ME-1324]



ME1744-008

# 2

## 柱の設置位置の確認

- 「納まり図」で巾および高さ寸法を確認してください。
- ( )内は、H=1400の場合を示しています。
- 「右引き（道路側より見て）」・「外観図」のイラストで示しています。

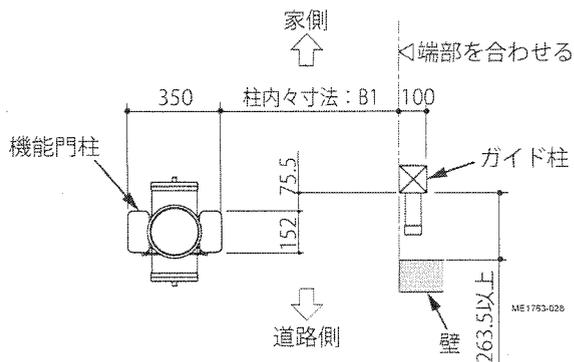


- 本章では柱の設置位置を確認してください。
- 柱の埋め込みは、後工程の「3-2. 柱・レールの埋め込み」でレールと同時に行います。

### 2-1 機能門柱片引き納まりの場合

①「納まり図」および図を参照して、柱の設置位置を確認してください。

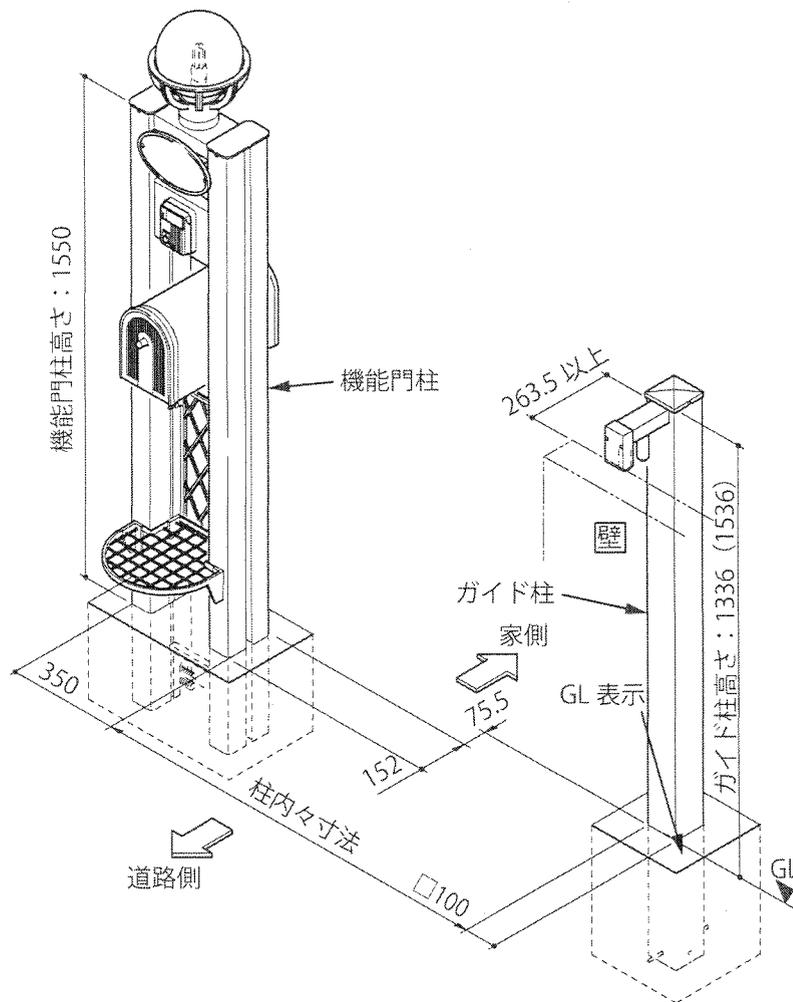
#### ●設置寸法図



#### ●寸法表

サイズ呼称	引戸巾 (DW)	柱内々寸法
152S-A1・154S-A1	1500	1339
202S-A1・204S-A1	2020	1859
262S-A1・264S-A1	2620	2459
292S-A1・294S-A1	2940	2779
352S-A1・354S-A1	3540	3379

#### ●設置イメージ図



ME1763-006

「3-2. 柱・レールの埋め込み」のとき、水平・垂直レベルを正確に合わせてください。



- ※寸法が正確でないと、引戸の設置ができなかったり、施錠不良の原因になります。
- ※壁との取合いが正確でないと、ハンドルと干渉するなど、開閉操作に支障がでる恐れがあります。

## 2-2 開き戸付機能門柱片引き納まりの場合

①「納まり図」および図を参照して、柱の設置位置を確認してください。

●寸法表

(mm)

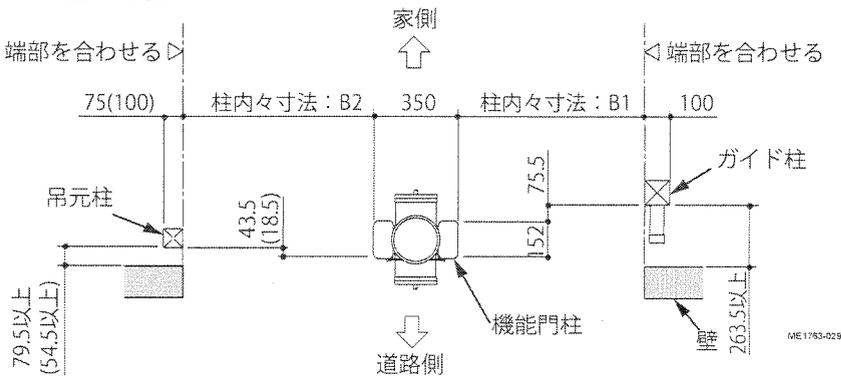
サイズ呼称	引戸巾 (DW1)	開き戸巾 (DW2)	柱内々寸法 (B1)	柱内々寸法 (B2)
152M-A1	1500	700	1339	760
202M-A1	2020		1859	
262M-A1	2620		2459	
292M-A1	2940		2779	
352M-A1	3540		3379	
154M-A1	1500	800	1339	860
204M-A1	2020		1859	
264M-A1	2620		2459	
294M-A1	2940		2779	
354M-A1	3540		3379	

「3-2. 柱・レールの埋め込み」のとき、水平・垂直レベルを正確に合わせてください。

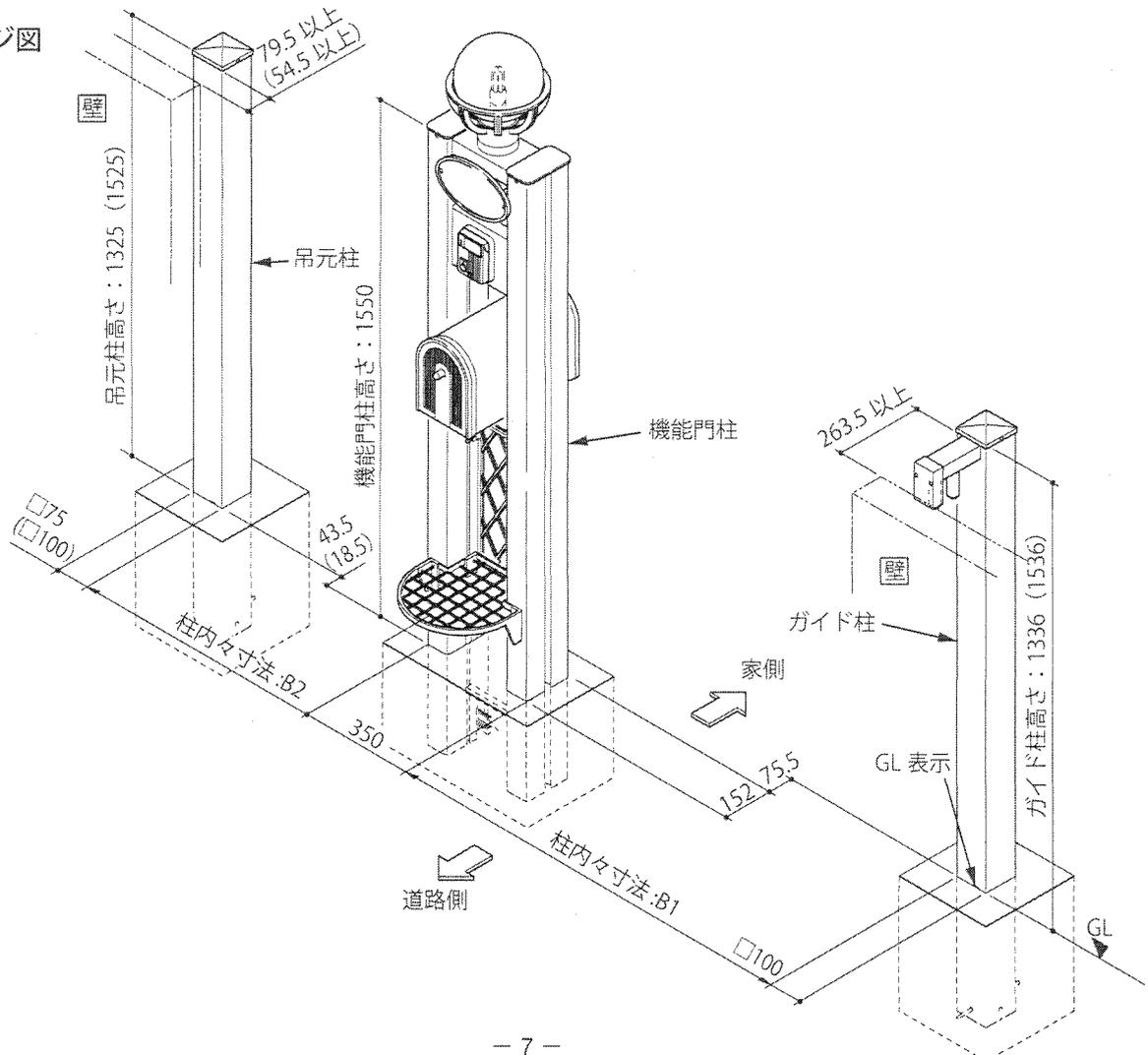


※寸法が正確でないと、引戸の設置ができなかったり、施錠不良の原因になります。  
 ※壁との取合いが正確でないと、ハンドルと干渉するなど、開閉操作に支障がでる恐れがあります。

●設置寸法図



●設置イメージ図



# 3

## 柱・レールの設置

- 「納まり図」で寸法を確認してください。
- 「右引き（道路側より見て）」・「外観図」のイラストで示しています。

### 3-1 レールの取付け

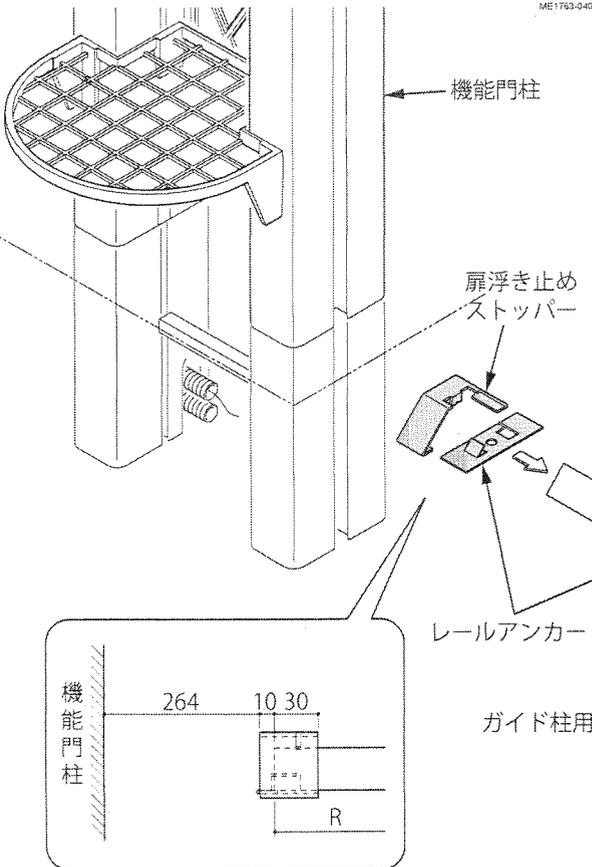
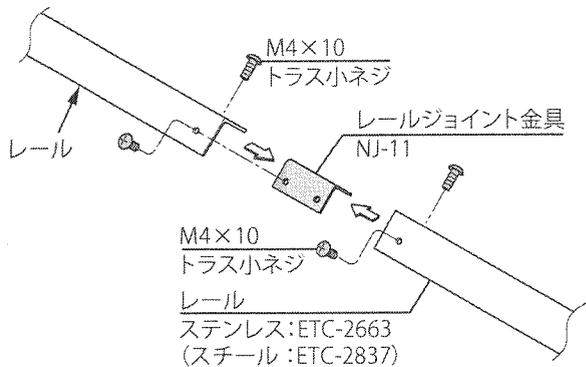
- ① 図を参照し、レールに部品をスライドさせて取付けてください。
- ② レールを柱に取付けてください。



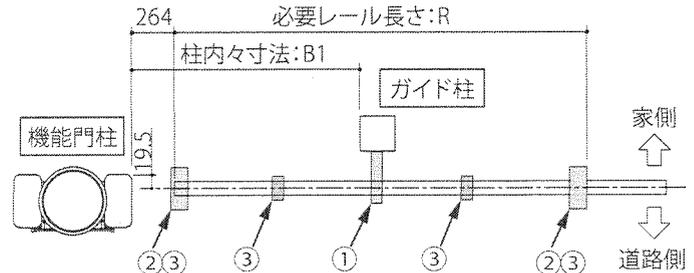
レール端部には必ず扉浮き止めストッパーを取付けてください。  
※取付けないと、引戸の脱輪および転倒の原因になります。

#### レールを連結する場合

- 2本のレールをレールジョイント金具で連結してください。



#### ● 部品配置図

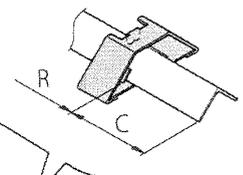


ME1763-034

- ① ガイド柱用レール固定板 NAN-20
- ② 扉浮き止めストッパー EB-1680
- ③ レールアンカー NAN-19

サイズ呼称	DW1 : 引戸巾	R: 必要レール長さ	B1 : 柱内々寸法
152S-A1・154S-A1	1500	2266	1339
152M-A1・154M-A1			
202S-A1・204S-A1	2020	3366	1859
202M-A1・204M-A1			
262S-A1・264S-A1	2620	4506	2459
262M-A1・264M-A1			
292S-A1・294S-A1	2940	5146	2779
292M-A1・294M-A1			
352S-A1・354S-A1	3540	6346	3379
352M-A1・354M-A1			

サイズ呼称	引戸巾: DW1	レール残り寸法: C
152S-A1・154S-A1	1500	484
152M-A1・154M-A1		
202S-A1・204S-A1	2020	444
202M-A1・204M-A1		
262S-A1・264S-A1	2620	244
262M-A1・264M-A1		
292S-A1・294S-A1	2940	204
292M-A1・294M-A1		
352S-A1・354S-A1	3540	4
352M-A1・354M-A1		



道路側

ME1763-008-1

## 3-2 柱・レールの埋め込み

### 柱の埋め込み

- ①「納まり図」および「2. 柱の設置位置の確認」で設置寸法を確認してください。
- ②柱をレールと同時に埋め込んでください。



柱の埋め込み時には、水平・垂直レベルを正確に合わせてください。

- ※寸法が正確でないと、引戸の設置ができなかったり、施錠不良の原因になります。
- ※壁との取合いが正確でないと、ハンドルと干渉するなど、開閉操作に支障がでる恐れがあります。



#### ●埋め込み寸法

- ・戸当り柱 = 400mm
- ・ガイド柱 = 400mm
- ・吊元柱
  - H1200(75角柱) : 300mm
  - H1400(100角柱) : 400mm
- ※ GL表示を目安に埋め込んでください。
- ・機能門柱 = 300mm



- 機能門柱の埋め込み前に、機能門柱部品の取付けが完了しているか確認してください。
- 参照説明書：  
機能門柱ファンクションユニット [ME-1481]

### レールの埋め込み

- ①水系または水準器で、水平レベルを合わせてください。
- ② GL面より15mm レール頭が出るように、柱およびレールを埋め込んでください。



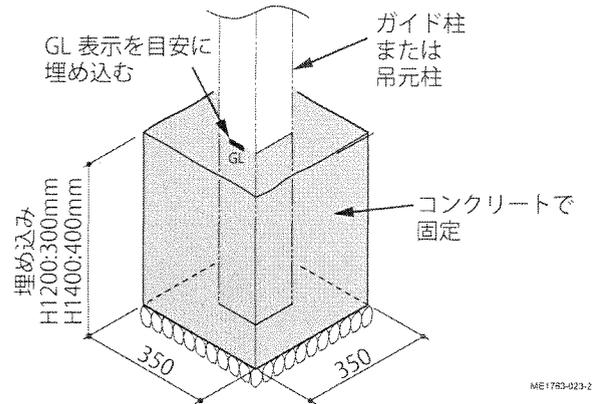
柱の埋め込み時には、「2. 柱の設置位置の確認」を参照し、寸法を正確に合わせてください。

- ※寸法が正確でないと、引戸の設置ができなかったり、施錠不良の原因になります。

#### ●柱の基礎寸法図

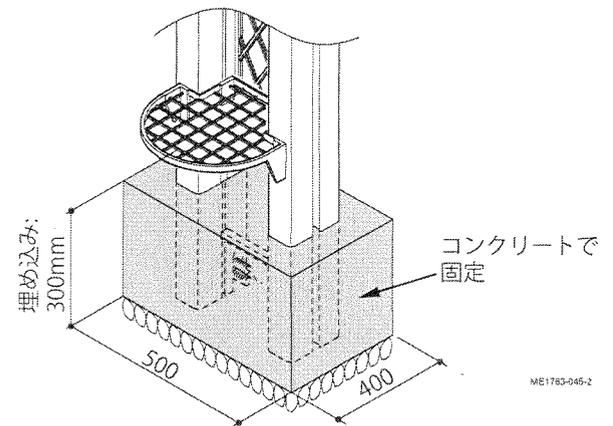
ガイド柱

吊元柱

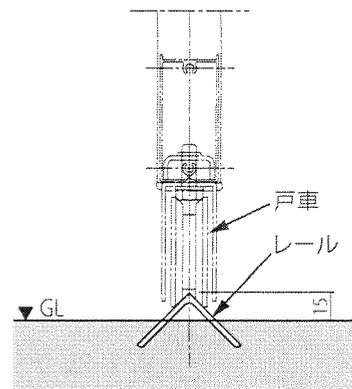


ME1753-023-2

機能門柱



ME1753-045-2



ME1751-043

# 4

## 引戸部品の取付け

●「右引き（道路側より見て）」・「外観図」のイラストで示しています。

### 4-1 縦框キャップ（下部）の取付け

- ①引戸または開き戸に同梱の「縦框キャップセット」内の取付説明書 [ME-1600] を参照して、縦框キャップを引戸に取付けてください。



参照説明書  
・形材門扉縦框キャップ  
取付説明書 [ME-1600]

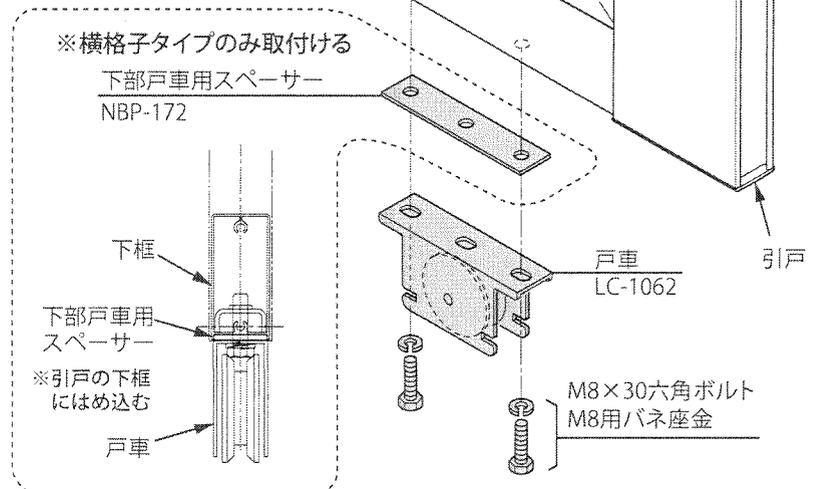
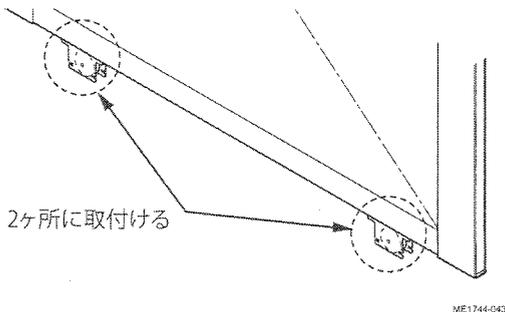
### 4-2 戸車の取付け

- ①戸車を引戸に取付けてください。



横格子タイプの場合は、下部戸車用スペーサ（縦框キャップセットに同梱）を取付けてください。

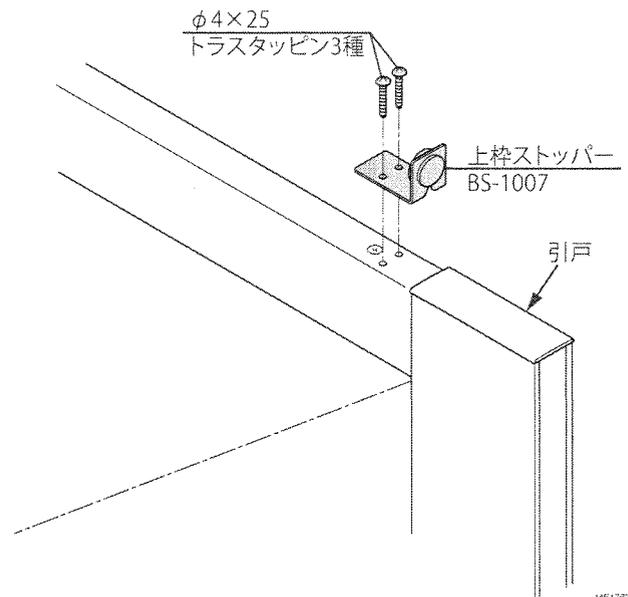
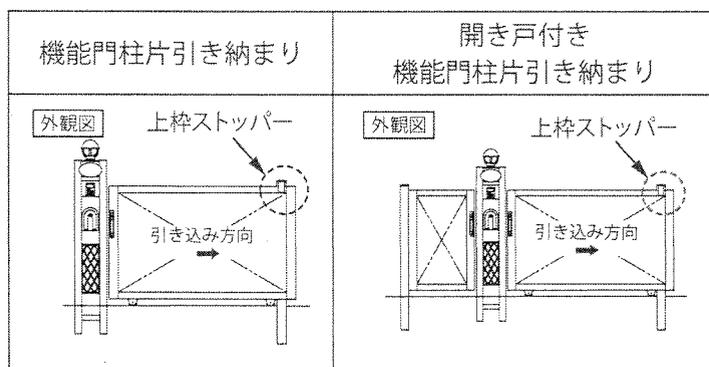
#### ●取付位置



### 4-3 上枠ストッパーの取付け

- ①上枠ストッパーを引戸（引き込み側）の上枠に取付けてください。

#### ●上枠ストッパー取付位置



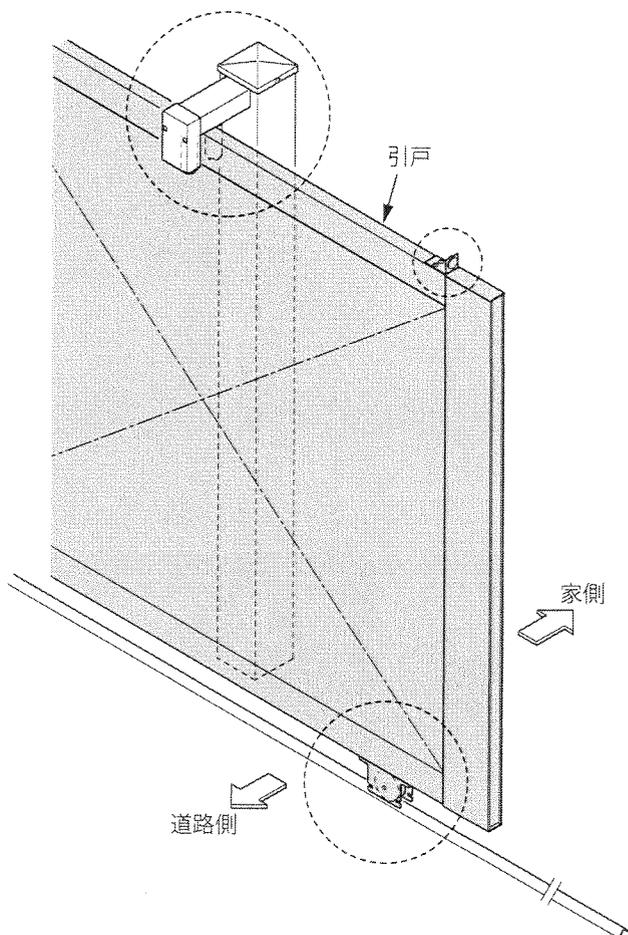
# 5

## 引戸の設置

●「右引き（道路側より見て）」・「外観図」のイラストで示しています。  
※「内観図」と指示のある場合を除きます。

### 5-1 引戸の設置

①ガイドローラーに引戸をはさみ、戸車をレールにのせてください。

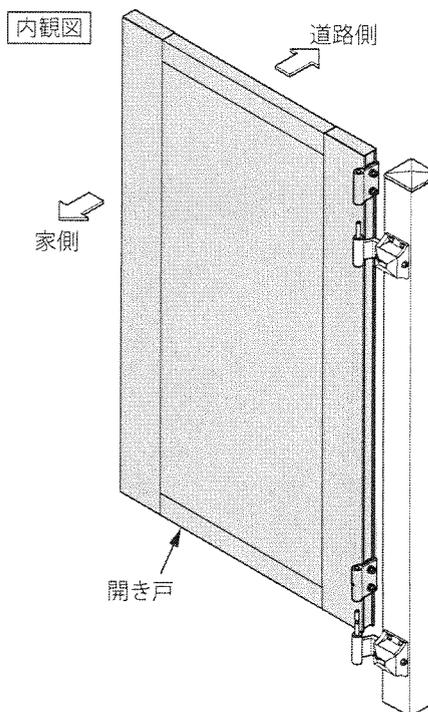


### 5-2 開き戸の設置（※開き戸付機能門柱片引き納まりの場合）

①吊元柱と同梱の「ヒンジセット」内の取付説明書 [ME-1324] を参照して、開き戸を吊元柱に吊込んでください。



参照説明書  
・ 形材門扉用門柱 片開き用  
[ME-1324]



※本図は「内観図」を示しています。

# 6

## 引戸取付後の作業と調整

●「右引き（道路側より見て）」・「外観図」のイラストで示しています。  
 ※「内観図」と指示のある場合を除きます。

### 6-1 片開き部材の取付け



参照説明書：  
 機能門柱ファンクションユニット  
 [ME-1481]

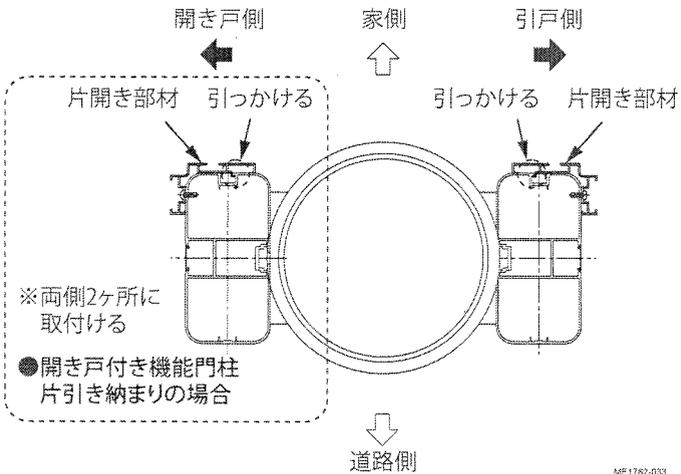
①片開き部材を機能門柱に取付けてください。



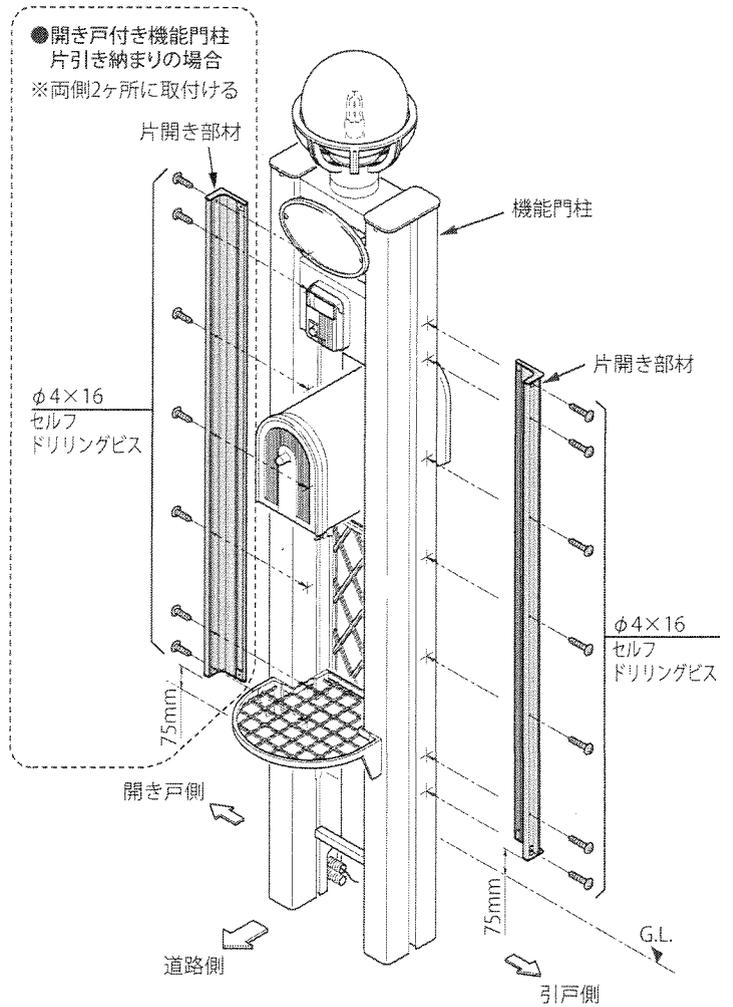
開き戸付き機能門柱片引き納まりの場合  
 は、2ヶ所に取付けてください。

#### ●取付詳細図

※勝手違いの場合は、開き戸と引戸の方向（取付面）が左右対称になります。



ME1762-033



ME1763-043

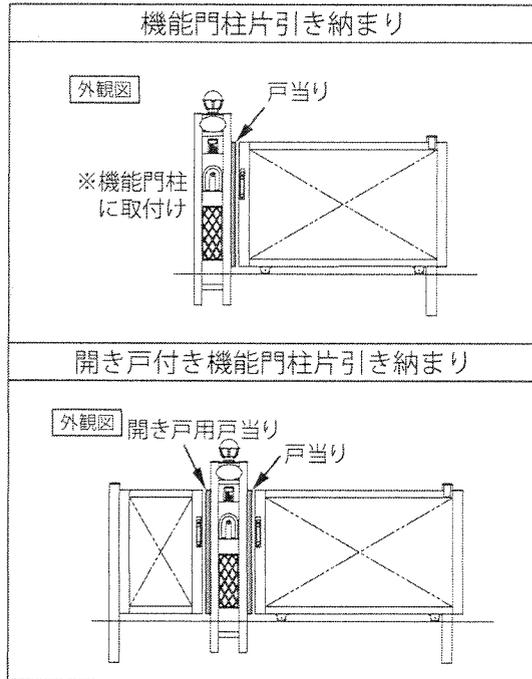
## 6-2 戸当り・錠受けの取付け



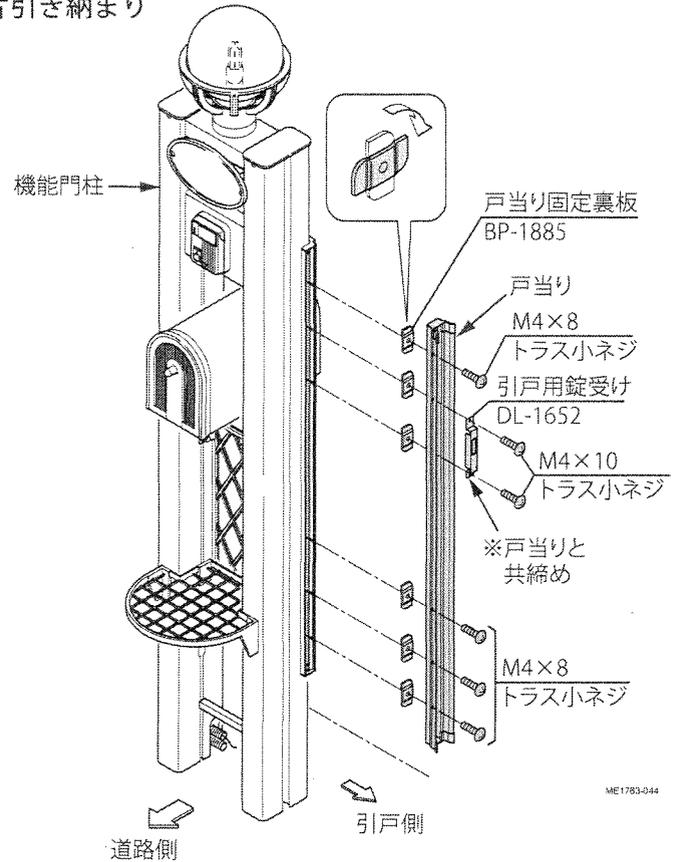
引戸錠 HA 型の取付説明書 [ME-1746] を合わせて参照してください。

① 戸当りと錠受けを取付けてください。

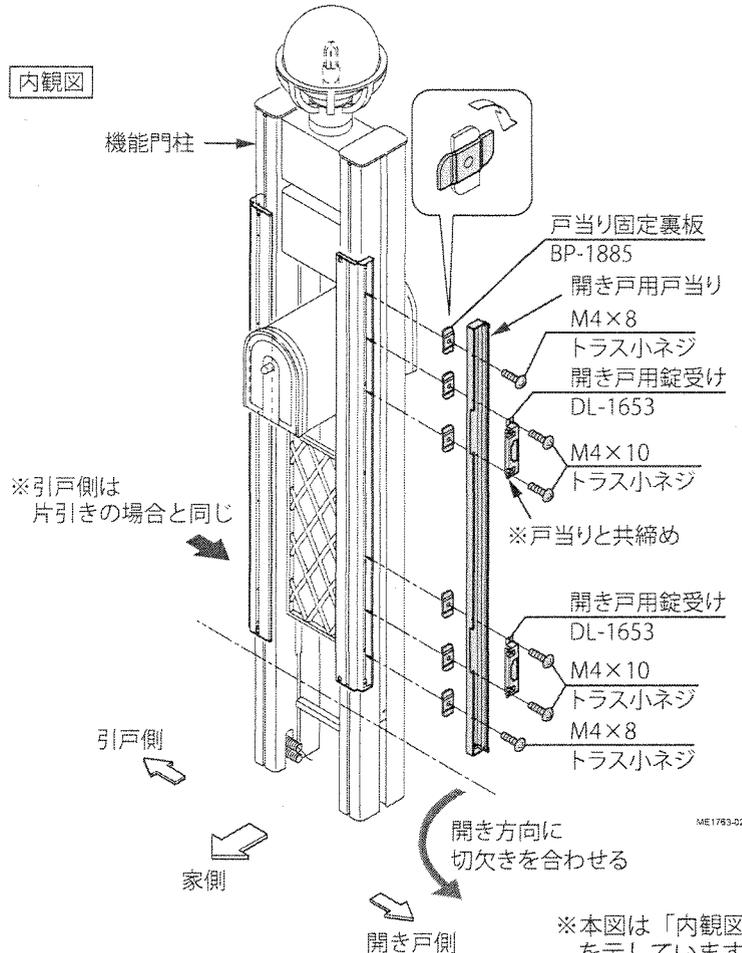
### ● 取付位置図



### ● 機能門柱片引き納まりの場合



### ● 開き戸付き機能門柱片引き納まりの場合



- 開き戸付き機能門柱片引き納まりの場合は、錠受けを2つ取付けてください。(下部は錠の操作には使用しません。)
- 開き戸用戸当り・錠受けの切欠きを扉の開き方向に合わせてください。

## 6-3 錠の取付け

① 「引戸錠 HA 型」と同梱の取付説明書 [ME-1746] を参照して、錠を取付けてください。



参照説明書  
・引戸錠 HA 型 [ME-1746]

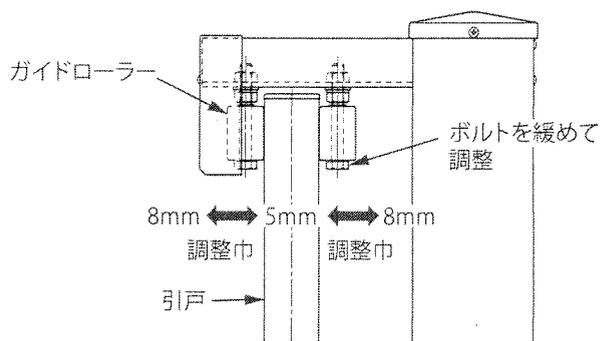
※本図は「内観図」を示しています。

## 6-4 ガイドローラーの調整

①ガイドローラー下部のボルトを緩め、引戸とガイドローラーの位置を調整してください。



調整後、ボルトを確実に締付け、固定してください。



ME1744-040

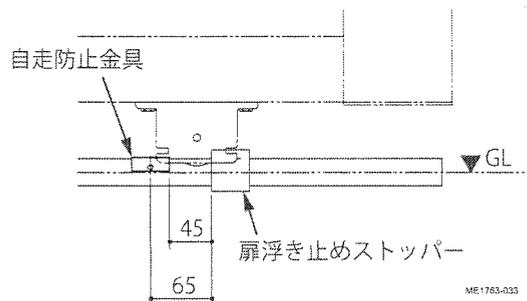
## 6-5 自走防止金具の取付け

①自走防止金具をレールに取付けてください。



必ず所定の位置に自走防止金具を取付けてください。  
※扉の全開時、強風などによる予期せぬ自走の原因となります。

### ●取付位置図

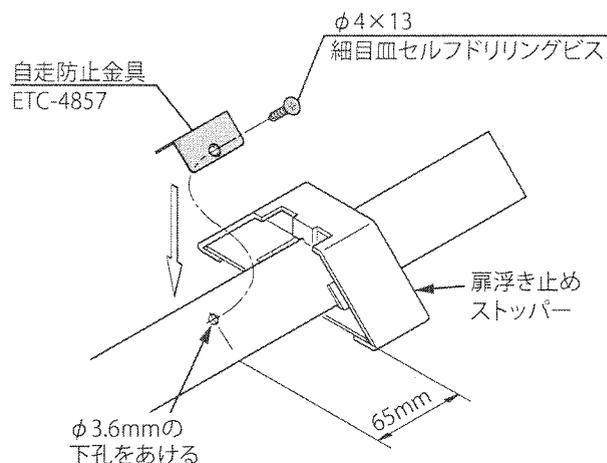


ME1763-035

②取付け後、扉を最後まで押し開け、自走防止機能（扉が自走防止部品を乗り越えて止まるか）を確認してください。



- 取付け後は、必ず扉の開閉操作を行い（扉を全開にして）自走防止機能を確認してください。
- 扉を開く場合は、扉を最後まで押し開けるよう施主様に説明してください。  
※扉を最後まで押し開けないと、強風などによる予期せぬ自走の原因となります。



ME1763-032

### 6-5 戸車と扉浮き止めストッパーの調整

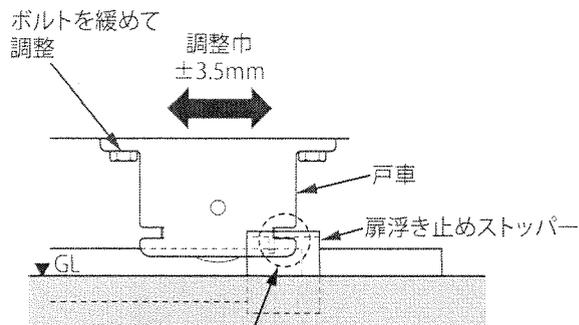
①戸車の調整ボルトを緩め、戸車の位置を調整してください。



戸車のツメを扉浮き止めストッパーの切欠きに引っ掛け、引戸が持ち上がらないことを確認してください。

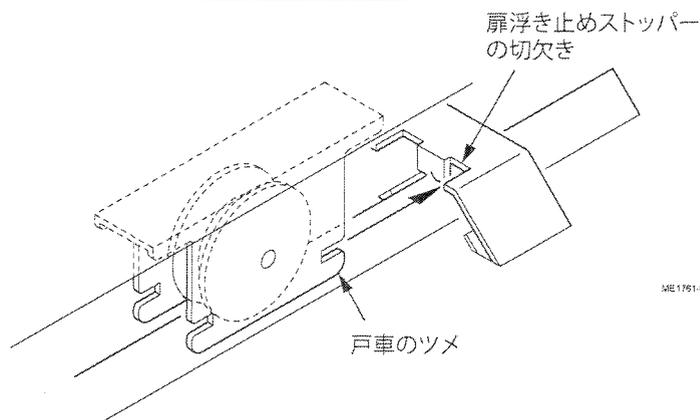


調整後、ボルトを確実に締付け、固定してください。



❗ ツメを切欠きに引っ掛けること

ME1761-034



ME1761-033

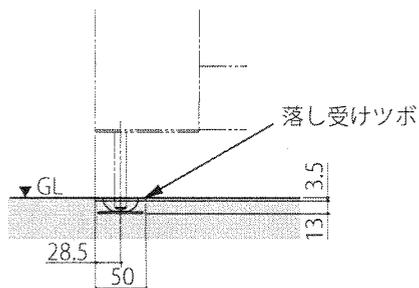
### 6-7 落とし受けツボの埋め込み (※開き戸付機能門柱片引き納まりの場合)



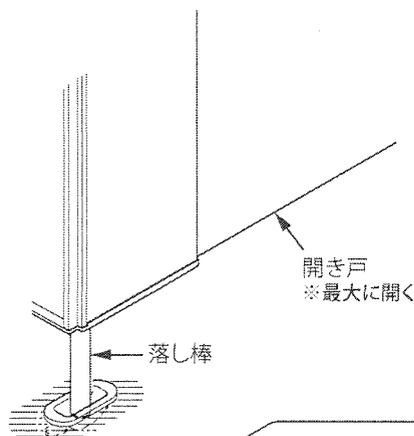
開き戸を最大に開いた状態で作業を行ってください。

①開き戸を最大に開いた状態で、開き戸の落とし棒に合わせて、落とし受けツボ（開き戸と同梱）を埋め込んでください。

●取付詳細図



ME1763-036



落とし受けツボ  
UD-1022

※開き戸に  
水平に取付け

ME1763-037

## 施工完了時の注意事項

- ビス・ボルト類が確実に締め付けられているか確認してください。
- 可動部品については作動チェックを行い、不具合がないか確認してください。また、必要に応じて調整してください。
- 使用上危険な箇所等がないか点検してください。

### ●確認・調整についての参照ページ

ガイドローラーの調整	14 ページ
自走防止機能の確認	14 ページ
戸車と扉浮き止めストッパーの調整	15 ページ

## 施工工事店様、販売店様へお願い

- 「取扱説明書」に基づき（同梱されているもののみ）商品の使用方法、保守点検方法およびメンテナンス方法を必ず施主様に説明してください。
- この取付説明書は、施工完了後施主様にお渡しください。

施 工 完 了 日	年 月 日
施 工 工 事 店	TEL ( ) -
販 売 店	TEL ( ) -
商 品 名	
そ の 他	